

ハードウェア マニュアル

- 使い方に困ったときにお読み下さい

CONTENTS

CHAPTER 1 電源を入れる前の準備 5

- 1 ●各部の名称と機能..... 6
 - 本体全体 / 6
 - 本体前面・背面 / 8
 - 本体左面 / 9
 - 本体右面 / 10
 - 本体底面 / 11
 - AC アダプタ / 12
 - ステータス LED / 13

CHAPTER 2 基本操作 14

- 1 ●キーボード..... 15
 - 外観 / 15
 - 各部の名称と機能 / 15
 - ファンクションキー / 19
 - コントロールセンター / 20
 - FLEXIKEY / 24
- 2 ●タッチパッド..... 28
 - 各部の名称 / 28
 - タッチパッドの基本操作 / 29
 - タッチパッド機能を無効にする / 30

CHAPTER 3 各デバイスについて 32

- 1 ●各デバイスの説明..... 33
 - 無線 LAN / 33
 - オーディオ (音量の調整) / 35
 - オーディオ (録音する) / 36
 - WEB カメラ / 38
 - カードリーダー / 38
 - USB2.0 端子 / 38

USB3.0 端子 / 39
USB3.0 (Type-C) 端子 / 39
ネットワーク (LAN) 端子 / 39
HDMI 端子 / 40
mini Display Port / 40

- 2 ● 外部出力について 41
 外部出力の手順 / 41
- 3 ● Trusted Platform Module 44
 TPM(Trusted Platform Module) とは / 44
 TPM を使ってできること / 44
 TPM の管理 / 45
- 4 ● Sound Blaster Cinema3 46
 Sound Blaster Cinema3 の起動 / 46
 Sound Blaster Cinema3 の設定 / 47

CHAPTER 4 BIOS 設定 49

- 1 ● BIOS 設定について 50
 BIOS 設定画面の起動 / 50
 BIOS 実行キー / 50
 BIOS 設定の変更 / 51

CHAPTER 5 ご使用に関して 55

- 1 ● バッテリーの使用方法 56
 概要 / 56

ご使用になる前に必ずお読みください

■ パソコンの設置及び動作使用環境について

- ・本製品の使用環境は、温度 10℃～35℃、湿度 8%～80% を超える環境で使用しないでください。故障の原因となります。
- ・本製品の通気口、排気口を塞ぐ又は遮断される場所に設置をすると、パソコン内部が高温となり、動作が不安定となったり、故障の原因となります。
- ・本製品には、落雷等による電源の瞬停（電圧低下）に対する保護機能は搭載されておりません。これを防ぐ手段として、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることを推奨いたします。
- ・本製品は、日本国内でのみご使用ください。

■ ハードディスクについて

- ・ハードディスクは、一般的に消耗部品となっております。重要なデータのバックアップは適時、お客様において行っていただくようお願いいたします。
- ・ハードディスクに保存されたアプリケーション及びデータ等は、いかなる場合であつても弊社は保証いたしません。
- ・ハードディスクは、衝撃、振動、温度等の影響を受けやすい部品です。起動した状態で衝撃、振動を与えないでください。

■ 著作権・商標について

- ・著作権法により保護される映像、画像、音声等を、本製品を使用して取り込んだ場合、個人として私的に使用する場合を除き、権利者に無断でそれらを使用することは、著作権法上禁止されております。また、権利者の許可なく、取り込んだ映像、画像、音声等に変更及びその他改変を加え、著作物の同一性を損なうことも禁じられています。
- ・著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。
- ・権利者の許諾を得ることなく、本製品に付属するソフトウェア及びマニュアルの内容を複製すること及びソフトウェアを賃貸、コピー、リース又は再使用許諾することは、著作権法上禁止されております。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。なお、本文中に™、® マークは明記しておりません。

CHAPTER

1

電源を入れる 前の準備

CHAPTER

1

2

3

4

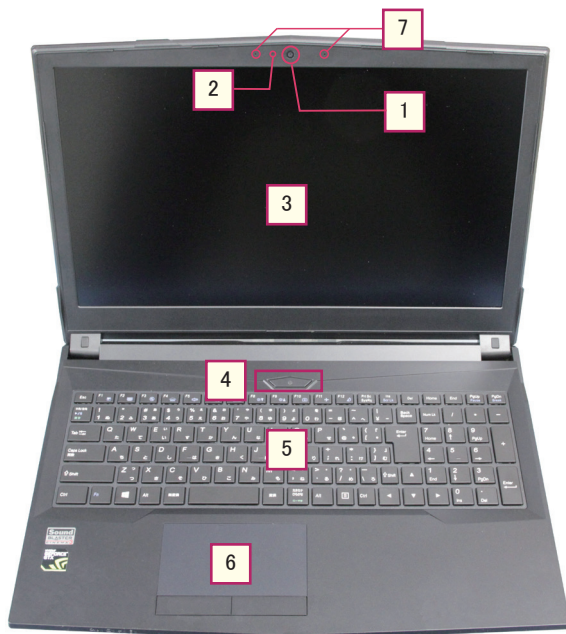
5

1 ● 各部の名称と機能6

各部の名称と機能

パソコン各部の説明をしています。

本体全体



※モデルにより形状が異なる場合があります。

1 WEB カメラ

メッセージング等で使用できる内蔵カメラです。

2 WEB カメラインジケータ

WEB カメラが動作しているとき LED ランプが点灯します。

3 液晶パネル

パソコン上での作業を映し出す液晶画面です。

注意

傷がつかないように取り扱いにはご注意ください。また、液晶パネル開閉時は天板の縁の中央部を持って、急な力を与えないようご注意ください。
(液晶パネル、ヒンジ破損のおそれがあります)

4 電源ボタン

電源ボタンを押すことで本製品の電源のオン・オフを切り替えることが可能です。

5 キーボード

パソコンにデータを入力するときに使用します。詳細は後述のキーボードの項目(15 ページ)をご確認ください。

6 タッチパッド

マウスと同等の機能をもったポインティングデバイスです。

7 内蔵アレイマイクロホン

音声録音する本体内蔵アレイマイクロホンです。

本体前面・背面

 注意

重いものを本製品に載せないようご注意ください。液晶パネルが破損する可能性があります。

1

ステータス LED

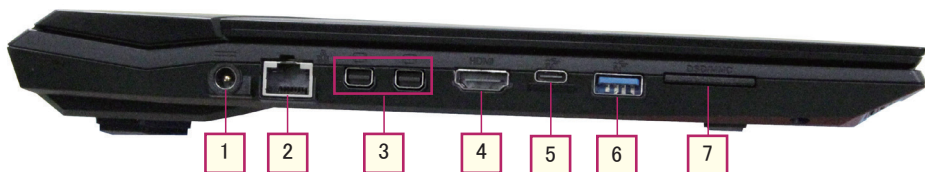
電源やバッテリーの状況を確認することが可能です。詳細は後述のステータス LED の項目 (13 ページ) をご確認ください。

2

通気口 注意

非常に熱くなることがあります。直接手で触れたり、物で通気口を塞いだりしないようご注意ください。

本体左面

**1 電源端子**

本製品付属の AC アダプタを接続します。

注意

過剰な力がかわると破損する場合があります。ご注意ください。

2 ネットワーク (LAN) 端子

10/100/1000 Base-TX の転送をサポートします。

3 mini Display Port 端子

mini Display Port 規格に対応した外部ディスプレイを接続することが可能です。

4 HDMI 端子

HDMI 規格に対応した外部ディスプレイを接続することが可能です。

5 USB3.0 端子 (Type-C)

USB3.0 端子です。

USB3.0 対応機器を接続した場合、Gen1 速度 (5Gbps) での転送速度となります。

6 USB3.0 端子

USB3.0 端子です。

USB3.0 対応機器を接続した場合、高速な転送を行う事が出来ます。

7 マルチカードリーダー

SD カード (SD/SDHC/SDXC) ・ MMC に対応しています。

SD カードは Class10 まで対応しています。

注意

市販されているすべてのカード、容量に対して動作を保証するものではありません。

本体右面

**1** ステレオヘッドホン端子

市販のヘッドホンやスピーカーを接続することが可能です。

2 マイクロホン端子

市販のマイクロホンを接続することが可能です。

3 USB2.0 端子

USB2.0 端子です。高速な転送速度を求めるデバイスを接続することが可能です。

4 USB3.0 端子

USB3.0 端子です。

USB3.0 対応機器を接続した場合、高速な転送を行う事が出来ます。

5 通気口**注意**

非常に熱くなることがあります。直接手で触れたり、物で通気口を塞いだりしないようご注意ください。

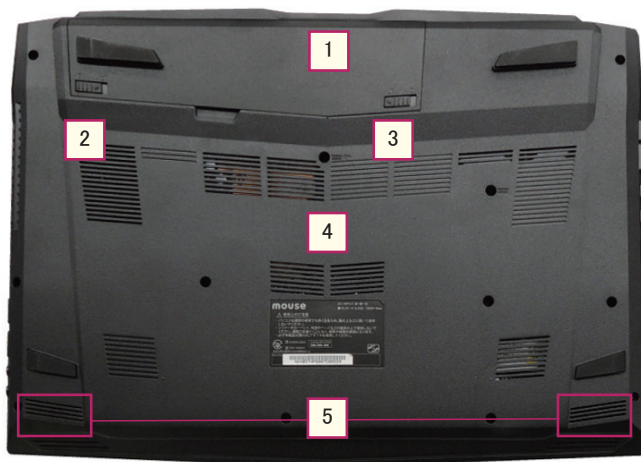
6 ケンジントンロック

市販のケンジントンタイプのセキュリティロックを施すことで、本製品を盗難などの被害から守ることが可能です。

**注意**

すべての被害を防ぐことを保証するものではありません。

本体底面

**1** バッテリー

ACアダプタを接続せずにパソコンを駆動することが可能です。

**注意**

通常はバッテリーを外す必要はありません。

2 バッテリーラッチ

通常は取り外さないでください。

3 バッテリーロック

バッテリーをロックすることでバッテリーラッチをスライドさせてもバッテリーが外れない状態になります。

通常はバッテリーをロックした状態でご使用ください。

4 システムデバイスカバー

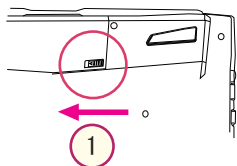
CPU、メモリなどの機器がこのカバーの下に配置されています。

5 スピーカー

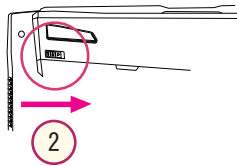
音声出力を行う本体内蔵スピーカーです。

■ 取り外し手順 ■

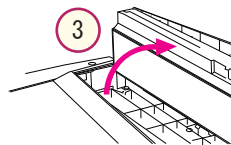
① バッテリーロックを左へスライドさせます。



② バッテリーラッチを右へスライドさせたまま、



③ バッテリーを上方向に押し上げます。



ACアダプタ



1 ACアダプタ

AC 電圧から一定の DC 電圧に変換します。



注意

動作中は高温になります。燃えやすいものや溶けやすいものなどの上に置かないでください。

2 DCアウト端子

ノートパソコン側に接続します。

3 ACコード

室内の AC 電源コンセント口にプラグを差し込みます。

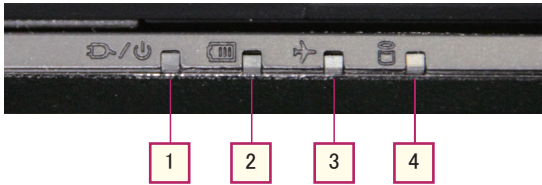


注意

トラブルや予期せぬ事故を防ぐために、OA タップを使わずに壁付けのコンセントから直接電源をとるようにしてください。

ステータス LED

ステータス LED は、ランプ表示でノートパソコンの操作状態を判別できる機能です。



- 1 電源ランプ**
電源オフ及びコンセント接続時：橙色に点灯
電源オン時：緑色に点灯
スリープモード有効時：緑色に点滅

- 2 バッテリーランプ**
充電中：橙色に点灯
フル充電状態：緑色に点灯
バッテリー容量が少ない状態：橙色に点滅

- 3 機内モードランプ**
機内モード有効時：緑色に点灯

- 4 ハードディスクアクセスランプ**
ハードディスクアクセス中：緑色に点滅

CHAPTER 2

基本操作

1 ● キーボード	15
2 ● タッチパッド	24

キーボード

キーボードの各部名称と機能を説明しています。

外観



※製品により形状、キー配列が異なります。

各部の名称と機能

1 Esc (エスケープ) キー

設定の取り消しや、実行を中止するときに使用します。



2 ファンクションキー

アプリケーションや OS によって機能を割り当てるができます。



3 テンキー

【NumLock】キーを押して、機能をオンにすることで数字キーとして使用することができます。【NumLock】キーがオフの状態では、カーソルキー等として動作します。



4 Prt Sc (プリントスクリーン) キー

表示されている画面をコピーするときに使用します。

Insert (インサート) キー

文字の挿入 / 上書きを切り替えるときに使用します。

Scrol Lk (スクロールロック) キー (【Fn】 + 【Ins】)

画面のスクロールをロックするときに使用します。

Delete (デリート) キー

カーソル直後の文字を削除します。

Home (ホーム) キー

カーソルを行の最初や文書の最初に移動させるときに使用します。

End (エンド) キー

カーソルを行の最後や文書の最後に移動させるときに使用します。

PgUp (ページアップ) キー

前のページに切り替えるときに使用します。

Pause (ポーズ) キー (【Fn】 + 【PgUp】)

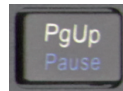
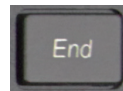
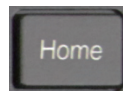
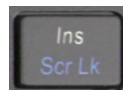
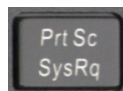
操作を一時的に止めるときに使用します。

PgDn (ページダウン) キー

次のページに切り替えるときに使用します。

Break (ブレイク) キー (【Fn】 + 【PgDn】)

操作を一時的に止めるときに使用します。

**5** カーソルキー

カーソルを移動させるときなどに使用します。



6 特殊キー / 文字入力キー**1** 半角 / 全角キー

日本語入力機能のオン・オフを切り替えます。

2 Tab キー

次の項目へカーソルを移動させます。【Shift】キーを押しながら【Tab】キー (Shift+Tab) を押すと、一つ前の項目へカーソルが移動します。文字入力時に押すと「タブ」が挿入され、カーソルが右へ移動します。

3 Caps Lock (キャスロック) キー

入力する英字の大文字・小文字を切り替えます。【Shift】キーを押しながら【Caps Lock】キー (Shift+Caps Lock) を押すと、Caps Lock がオンになります。解除するには同様の操作を行います。

4 Shift (シフト) キー

【Shift】キーを押しながら英字を入力すると、大文字・小文字が反転します。他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

5 Ctrl (コントロール) キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

6 Fn (ファンクション) キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

※詳細は後述の「ファンクションキー」をご参照ください。

- 7 Windows (ウィンドウズ) キー
スタート画面の表示および、他のキーを組み合わせるとして特殊な操作が行えます。
- 8 Alt (オルト) キー
他のキーと組み合わせるとして使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。
- 9 スペースキー
空白の挿入や、文字変換などに使用します。
- 10 カタカナ / ひらがなキー
【Alt】キーを押しながら【カタカナ / ひらがな】キー (Alt+ カタカナ / ひらがな) を押すと、「ローマ字入力」と「かな入力」を切り替えることができます。
- 11 アプリケーションキー
マウスの右クリックに該当する機能があります。使用するアプリケーションにより動作が異なります。
- 12 Back Space (バックスペース) キー
カーソルの直前の文字を削除します。
- 13 Enter (エンター) キー
設定の決定や、アプリケーションの実行などに使用します。
- 14 文字入力キー
アルファベット、ひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。【Ctrl】【Alt】【Shift】キーなどと組み合わせるとして使用することにより、特殊な操作を行うことができます。

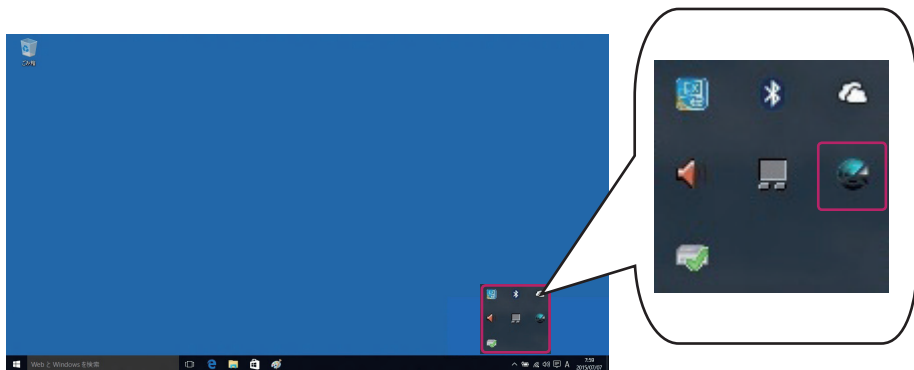
ファンクションキー

【Fn】キーと組み合わせて使用した場合の機能の一覧です。

グラフィック表示	キー操作	システムコントロール
	Fn + F1	タッチパッドの有効・無効を切り替えます。
	Fn + F2	LCD バックライトの有効・無効を切り替えます。
	Fn + F3	音声ミュート機能の有効・無効を切り替えます。
	Fn + F4	キーボード LED の光量を調整します。
	Fn + F5	スピーカーの音量を小さくします。
	Fn + F6	スピーカーの音量を大きくします。
	Fn + F7	ディスプレイ出力を① LCD のみ②外部出力のみ ③ LCD & 外部出力のいずれかに切り替えます。
	Fn + F8	液晶ディスプレイ表示を暗くします。
	Fn + F9	液晶ディスプレイ表示を明るくします。
	Fn + F10	WEB カメラの有効・無効を切り替えます。
	Fn + F11	機内モードの有効・無効を切り替えます。
	Fn + F12	スリープ状態になります。

コントロールセンター

頻繁に使用するデバイスや各種管理機能にすばやくアクセスすることができます。コントロールセンター画面を表示させるためには下記のタスクバーアイコンをダブルクリックするか、Fn+ESC キーを押すことで表示することができます。



■ ドライビング・モード

コントロール・センター上部にあるアイコンをクリックして、ドライビング・モードを設定することができます。

各モードは個別のプロファイル設定を持っています。

(詳しくは次ページをご確認ください)

静音



省電力



パフォーマンス



エンターテイメント



■各ドライビングモードのデフォルトプロファイル

モード	静音	省電力	パフォーマンス	エンターテイメント
アイコン				
液晶バックライト輝度	80%	40%	100%	100%
省エネ設定	バランス	省電力	パフォーマンス	バランス
スリープボタンの動作	休止状態	休止状態	休止状態	休止状態
タッチパッド	有効	有効	有効	有効
Web カメラ	有効	無効	有効	有効
Windows キー	有効	有効	有効	有効
ファンの動作	自動	自動	自動	自動
機内モード	OFF	ON	OFF	OFF

※各モードのデフォルト設定はソフトウェアのバージョンによって変更される場合があります。

■各機能の説明と呼び出し画面

コントロールセンター上のボタンを操作することで様々な操作を行うことができます。

システムプログラム



デバイス



ゲーミング



	アイコン	名称	機能の内容
システムプログラム		音量調整	スピーカーボリュームの設定ができます。
		液晶バックライト輝度調整	液晶画面の輝度が調整できます。
		ファン速度	本体内部の冷却ファン動作速度を最大 / 自動 / カスタムに変更することができます。(スリープ、シャットダウン、再起動後は自動的に“自動”に設定されます。)
		省エネ	パフォーマンス / バランス / 省電力の3種類からモードを変更することができます。
		スリープボタン	表記のアイコンをクリックした際の動作を休止状態 / スリープの2種類から選択することができます。(キーボード上のスリープボタンとは異なります。)
		デスクトップの背景	壁紙の設定画面が開きます。
		ディスプレイスイッチ	外部ディスプレイ接続時の動作を選択することができます。(Fn+F7 キーを押した時と同じ動作です。)
		タイムゾーン	時刻設定画面が開きます。
デバイス		バックライトキーボード	バックライトキーボードを点灯します。(0: 消灯、1-5: 点灯 (数字が大きいほど明るくなります))
		タッチパッド	タッチパッド動作を有効 / 無効にすることができます。(無効にした場合タッチパッド操作ができなくなります。再度有効にする場合はFn+F1 を押すか、マウスを使用してください。)
		カメラ	カメラデバイス動作を有効 / 無効にすることができます。
		左 Windows キー	ウィンドウズキー動作を有効 / 無効にすることができます。
		FLEXIKEY	キーボードやマウスへのマクロ登録やキーボードのイルミネーションについて設定する画面が開きます。(詳細は次ページ)

FLEXIKEY

FLEXIKEY アプリケーションは、複数のキー入力、アプリケーションの起動、入力テキストを特定のキーに割り当てることができます。

また、特定のキーを無効にすることによりゲーム中等の不要なキー入力を防ぐことができます。これらの設定は 12 のプロファイルでそれぞれ保存することが出来ます。

1. 基本操作



- ① 追加・・・ユーザープロファイルを追加します。最大 12 プロファイルまで追加登録が行えます。
- ② 削除・・・設定したプロファイルを削除します。
- ③ インポート・・・「エクスポート」で保存したファイルを読み込みます。
- ④ エクスポート・・・設定した内容を XML ファイル形式で保存します。
- ⑤ 保存・・・設定を保存します。
- ⑥ リセット・・・プロファイルごとに設定をリセットします。
- ⑦ 終了・・・アプリケーションを終了します。
- ⑧ 有効・・・プロファイル毎に設定した機能の有効・無効を切り替えます。

ワンポイント

このアプリケーションは⑧で当機能が有効になっている間の動作を設定します。無効にする場合は⑧のチェックボックスを外すか、「Fn」+「BackSpace」キーを押すことで設定の変更が可能です。

2. エクスプレスキー



複数のキーを任意の単一キーに割り当てることができます。

3. アプリ起動



任意の単一キーにお好みのアプリケーションの起動を割り当てることができます。

4. エクスプレステキスト



任意の単一キーにお好みのテキスト入力を割り当てることができます。

5. 無効



任意のキー入力を無効に設定することができます。

6. マウス



キーボードと同様にマウスにも 2~4 の機能を割り当てるのが出来ます。

7. 統計



任意のアプリケーションで使用されるキー入力回数を記録することができます。

また、クイック無効化のゲージでしきい値を設定することにより、記録した結果から入力回数の少ないキーを一括で無効にすることができます。

(無効に設定されたキーは、この設定画面上で色が灰色に変わります。)

タッチパッド

タッチパッドの各部名称、使い方を説明しています。

各部の名称

タッチパッドはマウスと同等の機能を有するポインティングデバイスです。パッド上での指の動きにあわせて Windows 上のカーソルがタッチパッドの機能にあわせた動作をします。詳細な動作については以下の表をご確認ください。

機能	左ボタン	右ボタン	同等のタッピング作業
実行	ダブルクリック		ダブルタップ
選択	クリック		タップ
ドラッグ	クリックしたままカーソルを動かす		ダブルタップの2回目のタップをはなさず、カーソルを動かす
コンテキストメニュー		クリック	

※タッチパッドの利用に関して※

1. ダブルタップは素早く行ってください。間隔が空くとシングルクリックと認識されます。
2. 指は清潔かつ乾いた状態で操作してください。濡れた指で操作をすると故障の原因となります。
3. タッチパッドは常に清潔にしてください。汚れが付着するとカーソル動作に影響を与えます。
4. タッチパッドは軽くふれてください。強くタッチしても良い反応は得られず、故障の原因となります。



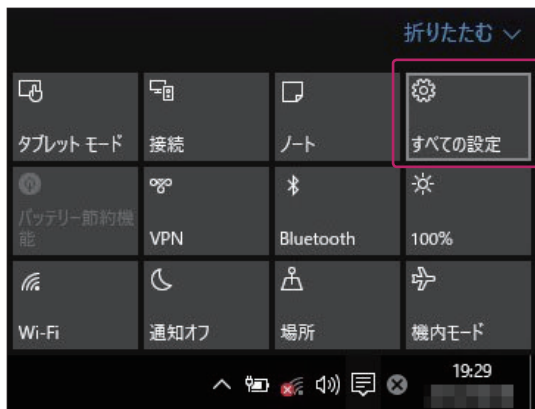
※製品によって形状は異なります。

タッチパッドの基本操作

操作名称	イメージ	機能
クリック (シングルクリック)		左ボタンを素早く押して離します。
ダブルクリック		クリックを2回続けて行います。
スクロール		2本の指を揃えてなぞります。タッチパッドを前後で縦スクロールを、左右で横スクロールを行うことができます。

タッチパッド機能を無効にする

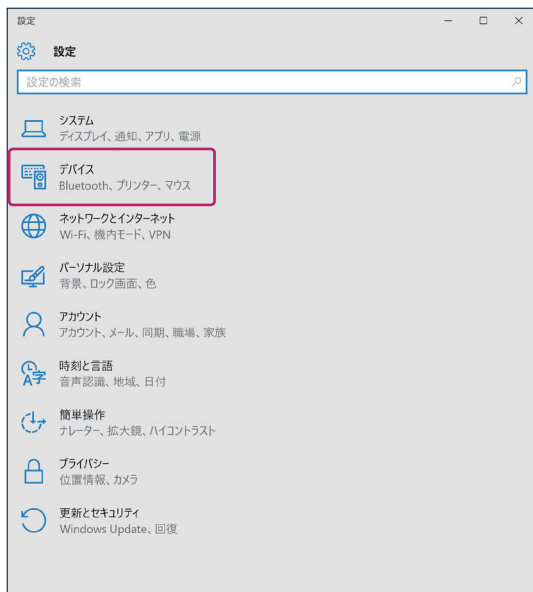
1. タスクトレイのアクションセンターから「すべての設定」をクリックします。



ワンポイント

ファンクションキー、「Fn」+「F1」キーを使った操作でも、タッチパッド機能の「有効」「無効」の切り替えが可能です。

2. 「デバイス」をクリックします。



3. 左側のメニューから「タッチパッド」をクリックし、表示された項目内の「タッチパッド」を、「オン」から「オフ」にスライドします。



CHAPTER 3

各デバイスについて

1 ● 各デバイスの説明	33
2 ● 外部出力について	41
3 ● Trusted Platform Module.....	44
4 ● Sound Blaster Cinema3.....	46

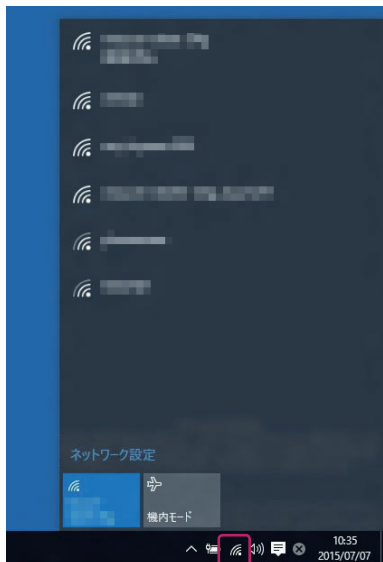
1

各デバイスの説明

製品に搭載されている各種デバイスの説明をしています。

無線 LAN

1. デスクトップの画面右下、タスクトレイにある「インターネットアクセス」アイコンをクリックします。



注意

ご家庭で無線 LAN を使用するには、無線 LAN ルーターが必要になります。また、各種無線 LAN スポットで使用する場合は、それぞれの契約が必要になります。

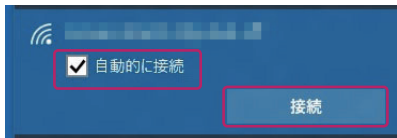
注意

無線 LAN デバイスが「有効」になっていることを確認してください。「有効」「無効」の切り替えは、「Fn」+「F11」キーで行います。

2. アクセスポイントを選択します。



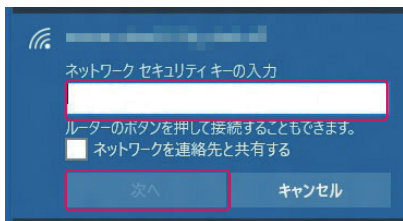
3. 「自動的に接続する」にチェックを入れ、「接続」をクリックします。



注意

ご自宅のルータ（アクセスポイント）にステルス機能が働いていると、無線 LAN デバイスが有効になっていても、アクセスポイントが表示されない可能性があります。ステルス機能については、ルータ付属のマニュアルをご確認ください。

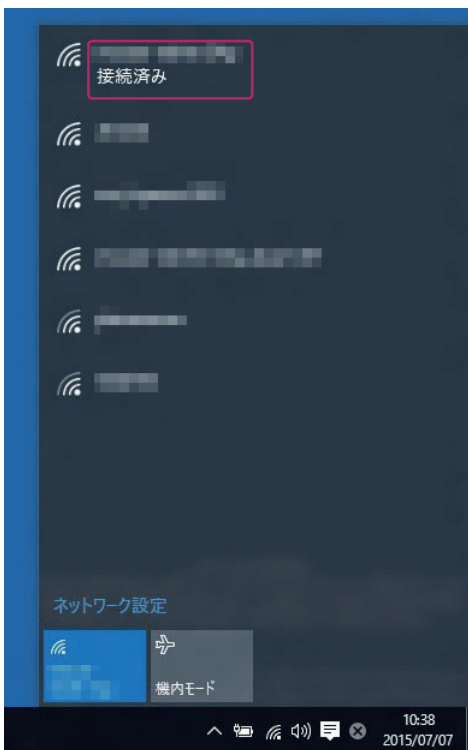
4. 「セキュリティキー」を入力したら、「次へ」をクリックします。



ワンポイント

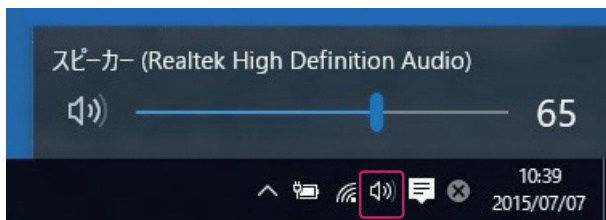
セキュリティキーは、ルータ（アクセスポイント）に設定されています。市販の無線 LAN ルータなど場合には、ルータの取扱説明書をご確認ください。

5. 「接続済み」と表示されて、接続が完了します。

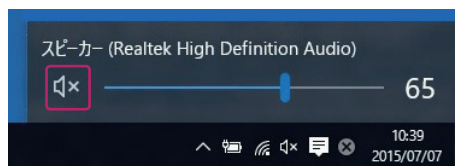


オーディオ（音量の調整）

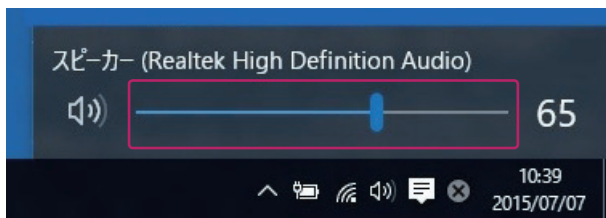
1. デスクトップの画面右下、タスクトレイにある「スピーカー」アイコンをクリックします。

**注意**

スピーカーアイコンをクリックすると、ミュート（消音）に設定することができます。



2. 音量バーを左右に動かすことで音量を調節することができます。



※ファンクションキーでの音量調整

- 【Fn】 + 【F3】：ミュート（消音）になります。
- 【Fn】 + 【F5】：押すごとに音量が小さくなります。
- 【Fn】 + 【F6】：押すごとに音量が大きくなります。

ワンポイント

ステレオヘッドホン端子に、スピーカーまたはヘッドホンを接続した場合、接続した機器への出力に切り替わります。内蔵スピーカーと外部機器との同時出力には対応していません。

オーディオ（録音する）

1. マイクまたは外部機器を接続します。



ワンポイント

マイクロホン端子に、マイクまたは外部機器を接続した場合、接続した機器からの入力に切り替わります。マイクロホン端子に接続しない場合、もしくは接続した機器を取り外した場合には、自動で内蔵マイクからの入力に切り替わります。

2. 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。



ワンポイント

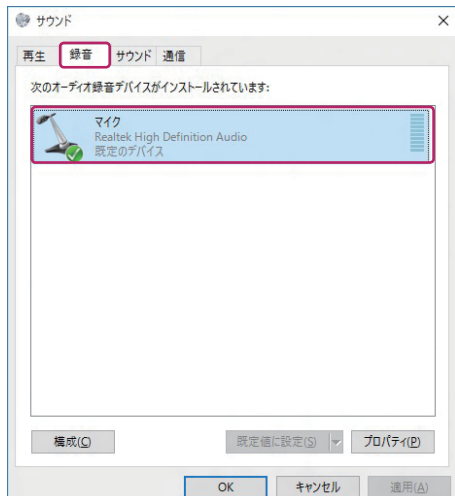
コントロールパネルの起動

デスクトップ画面で「Windows キー」+「X キー」を押すことで、画面左下にメニューが表示されます。コントロールパネルをクリックします。

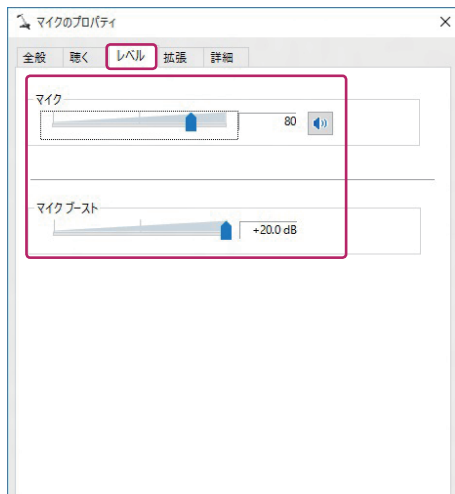
3. 「サウンド」をクリックします。



4. 「録音」をクリックし、「マイク」をダブルクリックします。



5. 「レベル」をクリックし、「音量」「マイクブースト」を設定します。



ワンポイント

マイクの録音ボリュームを最大にしても、入力音量が小さい場合、マイクブーストをかけることで改善します。初期値 0dB から、10dB 単位で最大 20dB まで設定可能です。

注意

ブースト値を上げすぎると、ハウリングやノイズの原因になります。

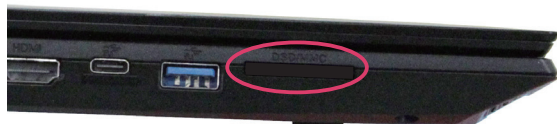
WEB カメラ

各種メッセージャーにおいて、対話時に使用できます。



カードリーダー

本製品のカードリーダーは、SD カード (SD/SDHC/SDXC)、マルチメディアカード (MMC) が使用可能です。



※挿入の向き

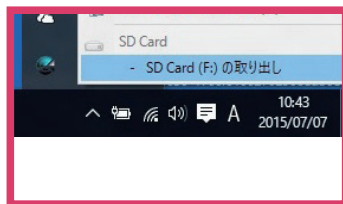


SD カード

注意

挿入したカードを取り外す際にはデータやカード自体の故障を防ぐために必ずマイコンピュータまたはタスクバーより安全な取り外しをおこなってください。

タスクバー表示例



USB2.0 端子

USB2.0 端子です。高速な転送速度を求めるデバイスを接続することが可能です。

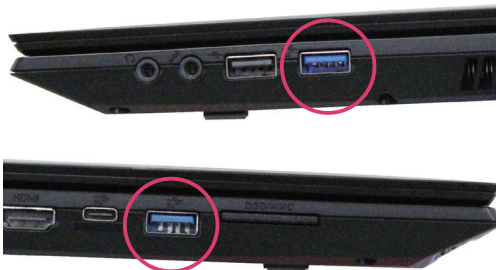


※注意※

接続する USB 機器によっては、別途 USB 機器に電源を接続する必要があります。

USB3.0 端子

USB3.0 ポートは最大 5 Gbps の速度で様々なデバイスを接続します。プラグアンドプレイに対応しています。



USB3.0 (Type-C) 端子

USB3.0 対応機器を接続した場合、Gen1 速度 (5Gbps) での転送速度となります。



ネットワーク (LAN) 端子

本製品には 10/100/1000 Base-TX に対応した LAN コネクタが搭載されています。ご使用の環境にあった LAN ケーブルを接続することで ADSL や光接続などを利用した高速データ転送を行うことが可能です。

■ LAN (ローカルエリアネットワーク)

接続には UTP LAN ケーブル (一般家庭や通常のオフィス環境で使用されるケーブル) を使用してください。接続する際、コネクタから「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



※注意※

ネットワーク (インターネットや社内 LAN) への接続の設定に関してはご契約のプロバイダ、または社内のネットワーク管理者にご相談ください。また、ネットワーク接続する際にはウイルスやスパイウェアの被害から守るためにセキュリティソフトの導入をご検討ください。

HDMI 端子

HDMI ポートは、HDMI 対応デバイスを接続します。最大で 3840 × 2160 の解像度での表示が可能です。



注意

表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。

mini Display Port

mini Display Port は、mini Display Port 対応デバイスを接続します。最大で 3840 × 2160 の解像度での表示が可能です。



注意

表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。

2

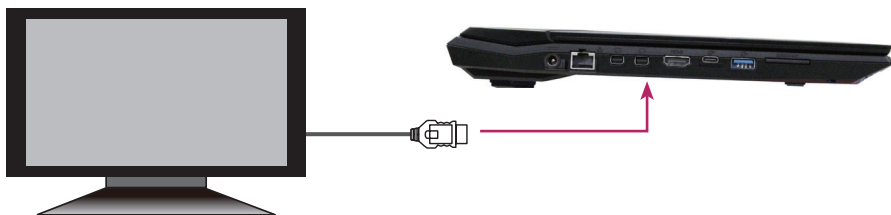
外部出力について

外部出力の方法について説明しています。

外部出力の手順

1. 外部出力機器を接続します。

本製品には、HDMI および mini Display Port 対応のディスプレイを接続することができます。

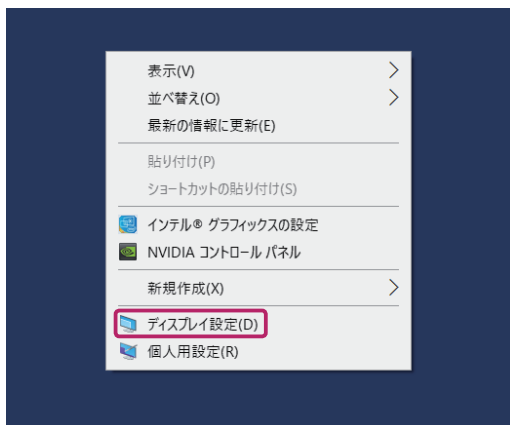


注意

本製品は、HDMI 1台、mini Display Port 2台の合計3台までディスプレイを接続することが可能です。本体のディスプレイを含めて最大4台まで表示可能です。

但し、複製画面表示(クローンディスプレイ)は最大2画面までとなります。

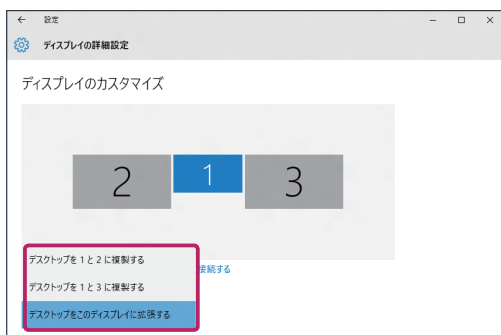
2. デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから「ディスプレイの設定」を選択します。



3. 「ディスプレイの詳細設定」をクリックします。



4. 「複数のディスプレイ」のプルダウンメニューから、表示させたい設定を選択します。



ワンポイント

「複数のディスプレイ」のプルダウンには、以下の選択肢が表示されます。(ディスプレイの接続状況により表示される選択肢が変化します。)

「表示画面を複製する」

接続ディスプレイに同じ解像度で同じ画面を表示します。

「表示画面を拡張する」

接続ディスプレイを並べて、1台の長いディスプレイのように表示します。

「デスクトップを○のみに表示する」

一方のディスプレイのみに表示し、もう一方のディスプレイには、信号が通らなくなります。

「デスクトップを○と△に複製する」

○と△のディスプレイに同じ解像度で同じ画面を表示します。

「デスクトップをこのディスプレイに拡張する」

選択しているディスプレイを拡張表示に追加します。

「デスクトップを○と△に拡張する」

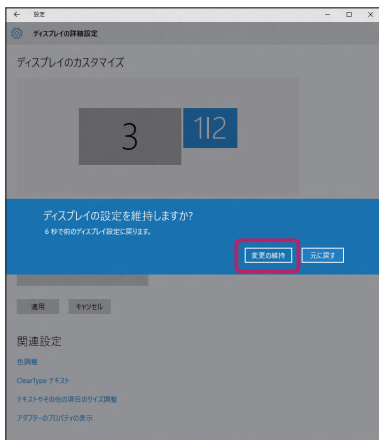
○と△のディスプレイを並べて1台の長いディスプレイのように表示します。

「このディスプレイを切断する」

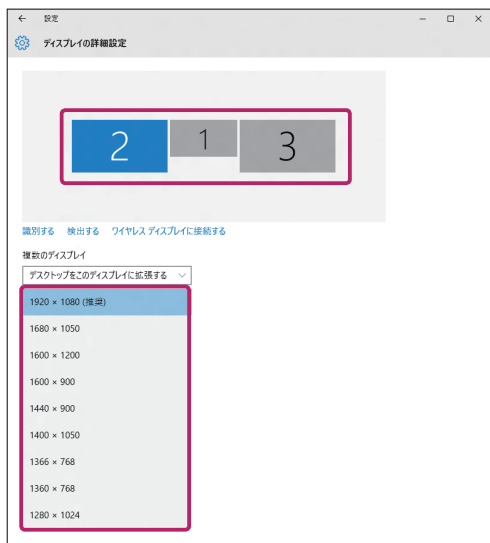
選択されたディスプレイの表示を切断します。

※ ○と△には「ディスプレイ表示の変更」に表示されている番号が入ります。

5. 「変更の維持」をクリックします。



6. 設定したいディスプレイを選択し、「解像度」のプルダウンメニューから解像度を設定します。



ワンポイント

「表示画面を複製する」の設定で、種類の異なるディスプレイを接続している場合、共通の解像度のみ設定可能となります。

一方がワイドディスプレイ、もう一方がスクエアディスプレイの接続で複製設定の場合、解像度によっては左右（もしくは上下）に黒帯が表示される「レターボックス」の状態になることがあります。

Trusted Platform Module

Trusted Platform Module (TPM) の機能を使うと、ハードディスクなどのストレージの安全な暗号化などを実装することにより、セキュリティを強化することができます。

TPM (Trusted Platform Module) とは

本製品には TPM によるセキュリティ機能が搭載されています。

この機能を利用するとセキュリティ情報を HDD 等のストレージからではなく、専用ファームウェアから提供するため安全性が高まります。

また、セキュリティ情報を取り出すことが事実上困難であるため物理的な安全性も高まります。

注意

- すべての状況においてハード、データの保護を保証するものではありません。
- お客様が TPM をご使用、または利用しない場合において発生した損害、損失については、弊社は一切の責任は負いかねます。
- 本製品を修理に出される際は BitLocker ドライブ暗号化を無効に設定してください。修理作業ができない場合があります。
- 設定作業時に非常時の復元用ファイルを保存する必要があります。リムーバブルメディア (USB メモリ、SD カード等) のご用意をお願いします。

TPM を使ってできること

OS 標準機能では [BitLocker ドライブ暗号化] が TPM に対応しています。

BitLocker では Windows がインストールされているドライブ (オペレーティングシステム ドライブ) や固定データ ドライブ (内蔵ハード ドライブなど) に格納されているすべてのファイルをドライブ単位で保護することができます。

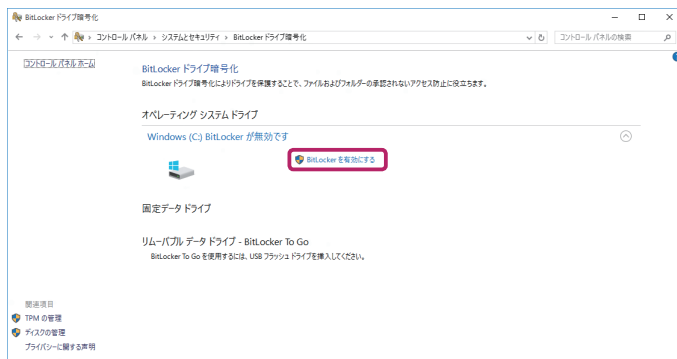
対応 OS: Windows10 Pro

(他のエディションの Windows 10 では対応していません。)

TPM の管理

Windows 内から TPM の設定を管理することができます。
ここでは BitLocker ドライブ暗号化機能の設定方法を説明します。

1. [コントロールパネル] を開いて、[システムとセキュリティ] をクリックし、[BitLocker ドライブ暗号化] をクリックします。
2. [BitLocker ドライブ暗号化] で TPM 機能を設定したいドライブの [BitLocker を有効にする] をクリックします。BitLocker セットアップ ウィザードが起動しますので、指示に従って設定を行います。管理者のパスワードまたは確認を求められた場合は、パスワードを入力するか、確認情報を提供します。



3. BitLocker をオフにするには、[BitLocker を無効にする] をクリックします。

4

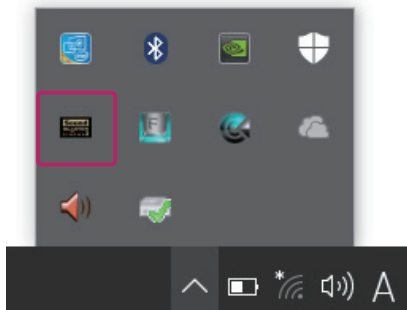
Sound Blaster Cinema3

Sound Blaster Cinema3 の起動および、使用方法について説明しています。

Sound Blaster Cinema3 の設定を行うことで、より臨場感のあるダイナミックなサウンドをお楽しみいただけます。

Sound Blaster Cinema3 の起動

1. タスクトレイの「Sound Blaster Cinema3」をクリックします。



2. Sound Blaster Cinema3 の設定画面が起動します。



Sound Blaster Cinema3 の設定



① 電源

Sound Blaster Cinema3 のオン・オフを切り替えます。

② 3D 体験ゾーン

ヘッドフォン・スピーカーそれぞれの設定で、3D サラウンド環境を体験することができます。

③ プリセットプロファイル

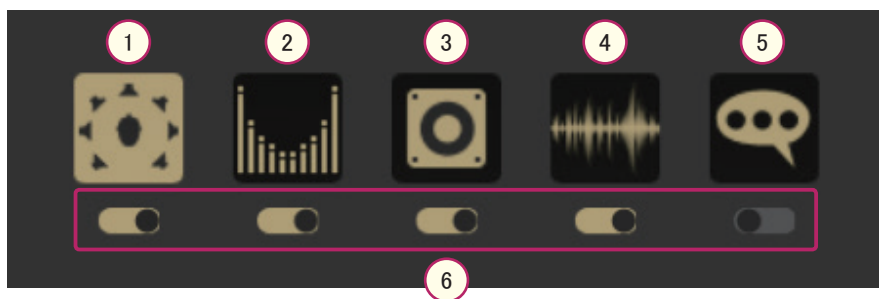
ミュージック・ムービー・ゲーム・ボイスそれぞれに最適化したプロファイルを選択することができます。また、カスタムを選択することでユーザー設定で視聴することができます。

④ 設定画面

設定項目の調整画面が表示されます。

⑤ 設定項目

細かい設定を行うことができます。詳細は次ページを参照してください。



- ① SURROUND
音に深みと広がりを持たせます。
- ② CRYSTALIZER
ダイナミックレンジを適正化します。
- ③ BASS
低音を強調します。
- ④ SMART VOLUME
急激な音量の変化を緩和します。
- ⑤ DIALOG PLUS
音声部分を強調します。
- ⑥ スイッチ
各項目のオン・オフを切り替えます。

CHAPTER 4

BIOS 設定

1 ● BIOS 設定について	50
-----------------------	----

BIOS 設定について

本項目をご確認の上、必要な場合のみご使用環境に適した設定を行ってください。
BIOS 設定を間違えるとパソコンが起動しなくなる可能性があります。

BIOS とは、Basic Input Output System の略で、パソコンを動作させるためのプログラムです。この BIOS 設定を正しく行うことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本製品ではあらかじめ、最適の状態での BIOS 設定がされています。ただし、使用環境によっては、BIOS の設定を変更する場合があります。

BIOS 設定画面の起動

1. 電源をオンにして、「F2」キーを続けて打ちます。しばらくすると BIOS 設定画面が表示されます。

注意

「完全シャットダウン」を行ってから、電源をオンにしてください。

注意

「F2」キーを打つタイミングが遅れると、BIOS 設定画面が表示されません。表示されなかった場合は、一旦、「完全シャットダウン」を行い、再度、手順「1」の操作を行ってください。

BIOS 実行キー

機能キー	指令	説明
ESC	終了	サブメニューを終了して、前のメニューに戻ります。または Exit 画面に移動する際にも使用します。
Enter	サブ画面へ移動	サブメニューを表示します。
F1	ヘルプ	ヘルプ画面を表示します。
F3	デフォルト値に戻す	工場出荷時の状態に戻します。
F4	保存して終了	変更を保存して、パソコンを再起動します。
←→	領域の選択	前または次のメニューを選択します。
↑	項目の選択	次の上の項目を選択します。
↓	項目の選択	次の下の項目を選択します。
-	より低い値	領域に次の値を選択します。
+	より高い値	領域に次の値を選択します。

BIOS 設定の変更

BIOS 設定画面は、いくつかの項目に分かれています。各項目のメニューについて説明します。
※ 構成により、表示される内容が一部異なる場合がございます。

Main



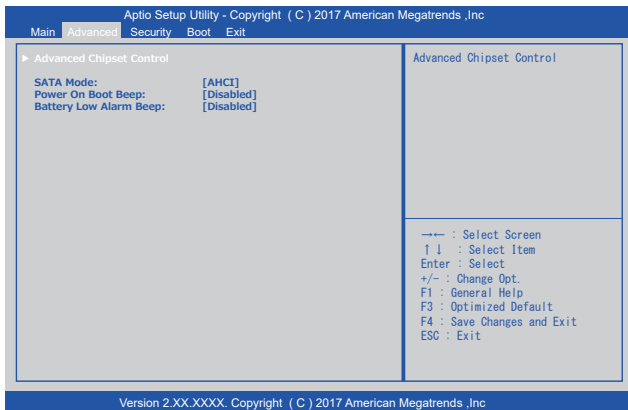
System Date:

MM/DD/YY(月/日/年)の形式で現在の日付を入力します。

System Time:

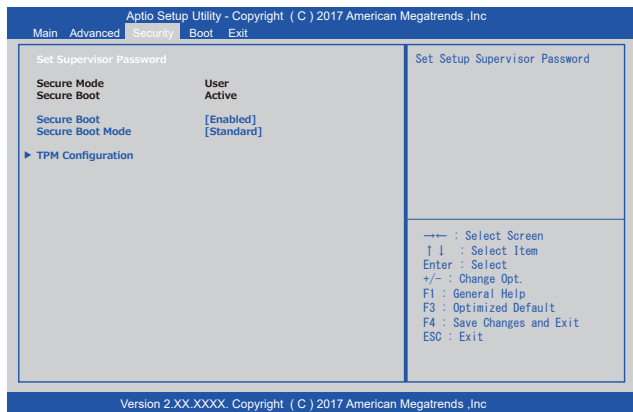
HH:MM:SS(時:分:秒)の形式で現在の時刻を入力します。

Advanced



基本動作の設定を行います。通常は設定の必要がありません。

■ Security



Set Supervisor Password:

BIOS 設定を行うためのパスワードを設定することが可能です。

※パスワード保護の利用

アドミニストレーターパスワードとユーザーパスワードの2つのレベルで利用可能です。

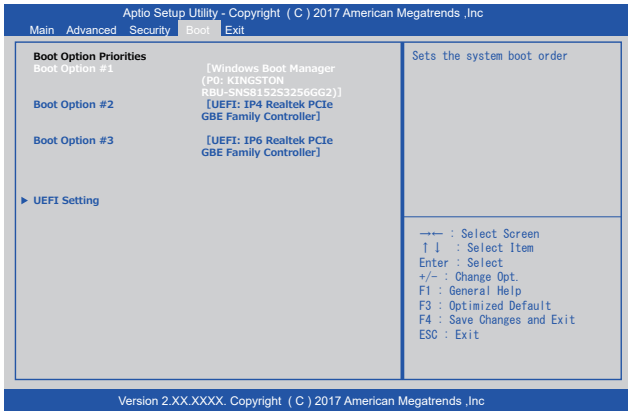
1. ユーザーパスワード (User Password)
電源を入れると、毎回パスワードを要求します。
2. アドミニストレーターパスワード (Administrator Password)
BIOS 設定画面に入る時のみ、パスワードを要求します。

設定したパスワードは NVRAM に保存されます。

※注意※

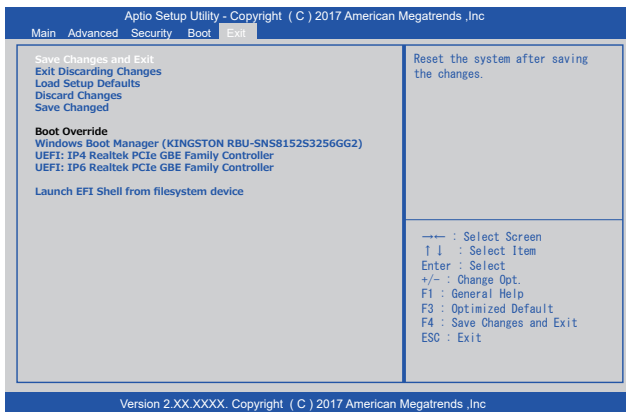
パスワードをお忘れになりますと、以後、BIOS 設定が不可能になります。その場合、弊社工場での初期設定（有償対応）が必要となります。必要時以外は設定を行わないことをお勧めいたします。

■ Boot



起動ドライブの順番を変更することが可能です。

■ Exit

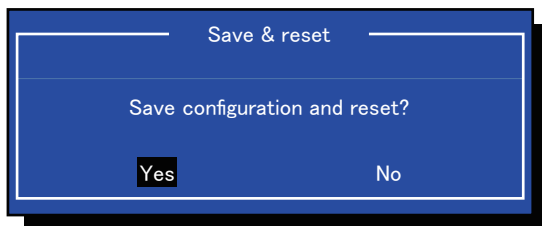


Exit Discarding Changes:

BIOS 設定の変更を保存しません。

Load Setup Defaults:

BIOS 設定をデフォルト値に戻します。すべての BIOS 設定画面上で、【F3】キーを押しても同様の操作が可能です。



Save Change and Reset:

BIOS 画面で設定した内容を保存します。保存の完了後に自動での再起動になります。変更内容は次のパソコン起動中に適用されます。

CHAPTER 5

ご使用に関して

1 ● バッテリーの使用方法	56
----------------------	----

バッテリーの使用方法

バッテリーの使用方法について説明しています。

概要

■ バッテリー

リチウムイオンバッテリーが搭載されています。ACアダプタを接続しない状態でも、バッテリーに充電された電力でパソコンを動作させることが可能です。

※注意※

初回のバッテリー充電（フル充電）には、約6時間の充電が必要となります。
スリープモードでは、3-5日でバッテリーの電力を失います。
パソコンを使用していない状態でも、バッテリーの電力は約一カ月で失われます。

■ バッテリー残量警告

バッテリー残量が電源オプションの設定値まで低下した場合、画面右下にポップアップで警告が表示されます。

※「バッテリー低下の通知」が「オフ」に設定されている場合表示されません。

※注意※

バッテリー警告が表示されたら速やかにACアダプタを接続して再充電を行うか、それまで作業していたファイルを保存して、パソコンの電源をオフにしてください。
また、0℃以下および60℃以上の環境で保管しないでください。バッテリーに有害な影響を及ぼす可能性があります。

■ バッテリーの充電と充電時間

本体に AC アダプタを接続します。電源コンセントから電力を供給することでバッテリー充電が可能です。充電時間はパソコン使用中に約 6 ～ 10 時間、電源オフでは約 4 ～ 6 時間でフル充電となります。フル充電になるとバッテリー LED は緑色に点灯します。

■ バッテリー残量の確認

Windows のタスクトレイにあるバッテリーインジケータでバッテリー残量を確認することが可能です。

■ バッテリー寿命について

以下の点に留意していただくことで、効率的なバッテリー活用が可能となります。

- 可能な限り AC アダプタを使用して外部から電源を供給する。
- 温度に注意する。高温多湿な環境や非常に低い温度環境での使用はバッテリーだけでなくノートパソコンにも悪影響を及ぼします。
- バッテリーは繰り返しの充電が可能ですが、ご使用の環境やご使用方法によって、その回数が異なります。バッテリーのご交換については、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

※注意※

バッテリーの性能を保つため、定期的（約 3 ヶ月に 1 度）にバッテリーの放電とフル充電を行ってください。

【作業方法】

パソコンの電源をオンにしたらずぐに BIOS 設定画面を表示させ、そのままの状態でバッテリーを完全消費させます。その後 AC アダプタを接続しフル充電を行います。